



No.12 2010・8・1
 連絡先 〒334-0001
 鳩ヶ谷市桜町 6-13-16
 森 克彦 048-283-3183
 清水 昇 043-291-7293

ハイウェイ九条の会ホームページ <http://www3.nns.ne.jp/pri/toshi601/>

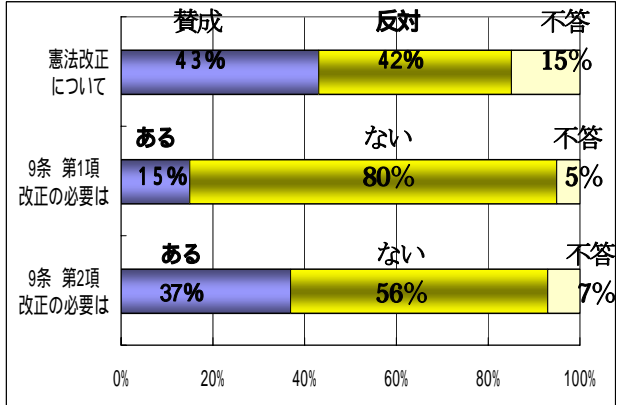
2010年憲法世論調査を見る

「変えない方がよい」を設問し、「変えない方がよい」が67%と過半数を超えた。

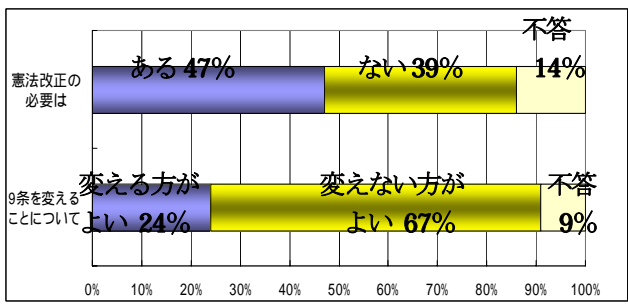
憲法改正「賛成」大幅減
 読売新聞

読売新聞(2010年4月9日付)全国世論調査によると、憲法を「改正する方がよい」とする人は43%、「改正しない方がよい」は42%だった。昨年同期の調査では改正賛成(52%)が改正反対(36%)を大幅に上回っていたが、今年は「賛成」が大幅に減となり、賛否が拮抗した。

また、憲法9条に関しては、1項と2項について改正の必要性があるか、ないかを設問し、いずれも「改正の必要はない」との答えが過半数を超えた。



読売新聞調査より

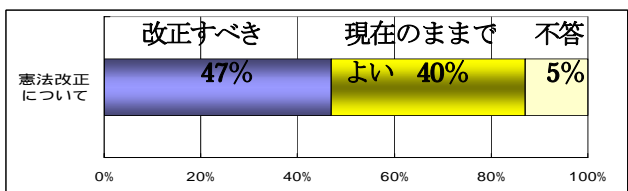


朝日新聞調査より

国民投票法5月18日施行「知らない」76%
 日本経済新聞社

日経新聞(5月3日付)世論調査によると、現憲法を「改正すべき」が47%で「現在のままでよい」が40%となり、昨年調査と比べて改憲支持は変化がなかったが、護憲支持は2%増え、その差は縮まった。

また、国民投票法の5月18日施行を聞いたところ、「知らない」は76%に達し、「知っている」は20%にとどまった。



日本経済新聞社より

憲法9条「変えないほうがよい」67%
 朝日新聞

朝日新聞(2010年5月3日付)全国世論調査によると、憲法を「改正する必要がある」とする人は47%、「改正する必要はない」は39%だった。昨年同期の調査では改正賛成派は53%だったので、6%減となった。

また、憲法9条に関しては「変える方がよいか」「変え

不思議な世論調査—毎日新聞社

毎日新聞の世論調査では、5月18日国民投票法の施行によって憲法改正の動きが進むことに「期待する」50%、「期待しないが」48%と拮抗した。しかし、日経調査で国民投票法の施行を「知らない」が76%もあることを考えれば、設問自体が成りたつのでしょうか。

ハイウェイ九条を考える会 関西の集い

5月29日に開催され、17名参加

「沖縄基地問題と9条」

弁護士・奥村一彦氏の講演

京都府 西村 正弘



5月29日、京都市右京ふれあい文化会館において「ハイウェイ九条の会関西の集い」が開かれ、17名が参加しました。

これは、昨年の憲法集會に参加し益川敏英さんらの話を聞いた仲間が、九条の会が東京だけでなく草の根の運動として関西でも何か取り組みたいと計画したものです。

集會には世話人の森克彦さんもかけつけ、ハイウェイ九条の会のあらましと活動内容として、現在35人の呼びかけ人のもと、約900人に会報「ハイウェイ九条を考える会」を送っているが、1,000人を目指し活動していることなどが報告されました。

集いでは自由法曹団の弁護士・奥村一彦氏が「沖縄基地問題と9条」と題して講演されました。

奥村氏はそもそも沖縄基地の問題は1,945年の米軍による沖縄の攻撃・占領、そして、住民を収容所に押し込めて普天間基地などの軍事基地を多数建設したことに始まったこと、沖縄の祖国復帰運動によって1,972年によりやく返還されたけれども、安保条約によって基地は居座り続けていることなどが話されました。

講演の後の質疑では、「北朝鮮がミサイルを発射したりしているのに、なぜ日本海側に基地がないの?」とか、「もし、9条がなかったら」、「戦争になれば若い男性が真っ先に駆りだされるのに、どうして関心がないの」など、ほとんどの人が次々と発言し、盛り上がりのある議論が予定時間をこえて続きました。

集いのあと、京町屋の並ぶ市内で懇親会が開かれ、ここでも和やかに交流が続きました。

今回は短期間の準備で十分周知、宣伝することが出来ず、少人数の参加でしたが、内容的にはよく「この集いは歴史的なものになると思う」と感想をのべる人もありました。

病気や所用のため出席できなかった人たちからも次は必ず出席したいとのメッセージもよせられ、今後の活動に希望のもてるものとなりました。

米軍基地問題は日本国民全体が もっと議論すべき問題

旅行作家 おくだ かおり

今回、「ハイウェイ九条を考える会」に参加させてもらい、改めて沖縄米軍基地について考えた。

私は、スキューバダイビングのライセンスを持っていて、20代前半の頃はしょっちゅう沖縄へ行っていた。初めて沖縄の地に降り立った時、それまで見たことがなかった美しい海と青い空に、こんな場所が日本にあったのかと感動した。

オープンカーのレンタカーを借り、南国の風を受けながら沖縄の動脈である国道58号線を北に走った。那覇を出てすぐに青々した海が見えたと思ったら、轟音とともに猛スピードの米軍戦闘機3機が低空飛行で横切った。

私はハンドルを持っていたにもかかわらず、思わず頭を伏せてしまった。でも、驚いたのは最初だけで、当時流行っていた映画「トップガン」そのものの光景に、かっこいいとさえ思ってしまった。

沖縄南部の中央部は、嘉手納基地という巨大な米軍基地で占められている。何度も沖縄へ行くうちに、常に国道58号線が混雑していることに気がついた。それは、基地を迂回するようにはしか道が作れないことが原因で、県民の生活をすごく不便にしていた。

当時、私は年に何度も沖縄に行っていたが、飛行機代もバカにならないので、沖縄に一時的に住むことにした。大好きな沖縄に実際に1年近く住み、沖縄の人と一緒に仕事をしてみて知ったのは、沖縄の人々は全員が戦争被害者であり、苦悩の日々を送っているということだった。

若者でも、祖父母から米軍が攻めてきた時の恐怖を伝え聞いていて、米軍に対して怒りを持っていた。私はそれまで、沖縄県民は米軍をある程度受け入れているのかと思っていたが、そうではなく、多くの人が米軍に反感を抱いていた。

私もその気持ちを理解できればと話を聞かせてもらったが、「内地（沖縄の人は、日本本土を内地と呼ぶ）の人間に沖縄の苦悩が分かるわけがない」と言われた。

沖縄県民には、戦時中、米軍に侵攻された時、日本軍に見放されたという意識が残っていることや、沖縄が日本に返還されても、日本政府が駐留米軍を追い出せずにいることから、日本政府に裏切られてばかりだという意識があるように感じた。

私たち内地の人間は、終戦記念日といえば8月15日と答えるだろう。しかし、沖縄では、日本軍の組織的な抵抗が終わった昭和20年6月23日を「終戦記念日」として、学校も休みになる。

6月23日、私が職場に行くと、みんな表情が沈み、いつも明るい人まで無口になっていた。普段どおりのテンションで私が話をしていると、普段優しい人まで私に冷たい視線を投げかける。

「みんなどうしたの？」 「今日は終戦記念日だ」

「え！？ 何を言ってるの？ 終戦記念日は8月15日でしょ？」「だから内地の人間は嫌なんだ！ 沖縄のことを何も分かってないと、怒って出て行ってしまった。沖縄では第二次大戦中、アメリカ軍が上陸し、次々に家が焼き払われ、人々が殺された。その戦争体験は若い世代にも語り継がれている。そのため、米軍基地問題について、高校卒業したての若者でも熱く議論を交わしていたことが印象に残っている。

日本国内で米軍が駐留しているのは、沖縄だけではない。しかし、日本にとって一番防衛が必要な北朝鮮に近い日本海側には米軍基地は一つもない。私は日本に米軍基地など必要ないし、全国に駐留している米軍は撤退してほしいとさえ思っている。しかし、世間では、抑止力のために米軍基地が必要だという人もいる。抑止力と言うのなら、今日本が置かれている現状を考えても、沖縄より日本海側にあってもしかるべきではないだろうか。

そんな意見を言うと、北陸の海岸部に米軍基地を作る話が過去にあったことを教えてもらった。しかし、住民が猛反対したため、その話は消えたそう（内灘闘争）。

沖縄とは状況がかなり違うが、沖縄でも県民が基地はいらないと一致団結し、人間の鎖まで作ってその意思をはっきり表現したにもかかわらず、その意見は通らず、結局は辺野古沖に滑走路を作ることが決まった。

米軍基地問題は、政治で一方的に沖縄県民だけに負担を押し付けるのではなく、日本国民全体がもっと議論すべき問題だと思う。裏には何か政治的な協定などがあるのかもしれないが、韓国のように国民全体が米軍駐留の是非を問う議論をし、反対の意思を強く示して米軍が撤退した例を見れば、日本でも夢ではないように思う。鳩山首相が辞任した今、沖縄に基地がなくなる日は来るのだろうか。これからも長い戦いになるかもしれないが、いつかは米軍基地がない沖縄になることを祈る。



核保有の実態が把握できなくなった

愛媛県 末広 清二

先日西村先輩のお誘いを受け京都での標記集いに参加しました。会の呼びかけ人であり道公労時代の最も尊敬する大先輩洞田・清水両氏や森事務局長もお見えになるといことで、お会いできるのを楽しみに脳梗塞を患って依頼1年半ぶりの一人旅に思い切って挑戦しました。

会は、森事務局長のこれまでの会の活動内容のお話があり、つづいて講師の自由法曹団奥村弁護士より、沖縄基地・日米安保条約の問題について歴史的背景や問題点等の講演があり、その後講師を交えての活発な討論が行われました。

参加者には、現役のNEXCO関係者(女性含む)も複数おられ、貴重な意見交換がなされました。私が一番印象に残ったことは、核軍縮の話で、なぜ今アメリカが軍縮を言い出したかということ、広く核の研究が進み5大国以外にも核保有国が増え、核保有の実態が掌握できなくなった怖さから、自国の保有の実態を明らかにし世界にもそのことを呼びかけ軍縮をみんなでしようといった形になったということです。どこの国でも比較的簡単に核が持てるということは、本当に恐ろしいことで、一步間違えば大事になります。

私はもともとアメリカという国を信用していませんし好きではありません、しかし核軍縮・核廃絶のためなら好き嫌いはいっておれません、戦争をしない・核を使用しないということは大切なことです、その為には不平等や格差等をなくしていく社会環境の整備と、戦争を絶対しないという人間の心を育て・全世界が誓う事だと思います。

私は、普段は、平和を願い、松山地区の九条の会に参加しています、今回の集いに参加してさらに思いを深くしましたが、日本国憲法9条の心・戦争をしない心を一人一人増やしていくことが大切だと思います。大河の水も最初は小さい一滴の水です・・・私たちハイウェイ九条の会の力も小さいものと思いますが一人一人憲法9条の心の理解者を根気よく増やしていくよう頑張っていきたいと思ひます。

最後に、とても有意義だった集い開催に尽力くださった西村先輩ご夫婦に紙面をおかりし感謝申し上げます。

ハイウェイ九条の会関西の集いに参加して

三重県 富田 繁好

昼食にニラレバ定食(730 円)を食べ、右京ふれあい文化会館を店の主人(60 才代とみえる)に聞くと「その一つ先の信号交差点の北側だよ。今日はなにがあるんだネ。」「憲法9条の会があるので、三重県から来ました。」「そうですか、遠い所から大変だネ。憲法9条は世界に誇れる戦後日本の最高の宝だよ」との話。京都はすすんでいなあ、と感じました。

「ハイウェイ九条の会関西の集い」の奥林弁護士が言う。1945年7月16日、近衛内閣が「日本は固有の領土で満足・・・固有の領土とは、最下限沖縄、小笠原、樺太を棄て・・・」

近衛文麿の「平和交渉の要領」(対ソ交渉)等としておきながら、ポツダム宣言を受諾しなかったから、多くの死者を出した原爆二つも落とされた悲惨な事実。

アメリカ軍基地は世界中にあり、アメリカ軍にとってもっとも住みやすいのが日本の基地だそう。なぜなら、日本の費用負担「思いやり予算」が75%も出され、したい放題、事件や事故を起こしても治外法権、ゴルフに行った経費もこの「思いやり予算」の中に入っている、とのことを聞き驚いている。

ドイツは自己負担率35%とのラジオ放送を聴いた。「日本の基地のうち、中国地方や北朝鮮に最も近い北陸近辺にアメリカ軍基地が少ないのはなぜか」との質問に、今は、そんな戦争ではない。アメリカ軍は自国でイラク戦争のようにテレビゲーム感覚で訓練しているようだ。

私は昭和17年生まれで67歳になった。「死んだ親が後に残す宝物は何ぞ」というロシア民謡があるが、死んだ親が後に残せる「宝物は何ぞ」聞かれても何もないが、「日本中の親が後に残せる宝物は何ぞ」と聞かれて、「憲法9条、戦争放棄だ。60年間戦争をしなかった憲法と国民の力だ」と、歌えるようになって欲しいと思う。

沖縄から基地の移設だ、県外移設、撤去と言っているが、アメリカ軍がいなくなったらどうするのか、国防はどのように必要なのか。武器を一切持たなくてよいのか。私はずっと疑問に思っている。

憲法9条は「陸、海、空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない」となっているが、今の自衛隊は、陸海空隊を超高能力で持っているではないですか。これを戦力、兵力(30万人におよぶ自衛隊員)と言わず、何というのですか。日本国民は憲法に違反している自衛隊を黙認し、国民的世論も圧倒的とも言えない。

桑名市と東員町で「9条の会」があり、「9条のある国がすてきだ!」と池住義憲さん(立教大学大学院教員)の講演に行った。

名古屋高裁はイラク戦争について「自衛隊をイラク及

びその周辺地域並びに周辺海域に派遣してはならない」、「被控訴人がイラク特措法により、自衛隊をイラク及びその周辺地域に派遣したことは違憲であることを確認する」「訴訟費用は、第1、2審とも被控訴人の負担とする」との判決がA4用紙14ページに渡り、全くきめ細かく書かれている。判決文を貰った時、日本の高裁の裁判官がよくもここまで詳しく述べたなあ、と不思議で仕方なかった。この判決が確定してのだから、日本国民は声高らかに語り合わなければならないなあと思う。

砂高裁判で(私は砂川基地問題は北海道の砂川市での事件かと思っていた)、米軍駐留は憲法違反判決が、マッカーサー駐日大使(マッカーサー元帥の孫に当たる)が最高裁長官に圧力をかけ、判決破棄に至ったとは、まったく知らなかった。

憲法97条

「この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であって、これらの権利は、各幾多の試練に堪へ、現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである」と全く格調高いですね。本当に清水昇さんの「格調高く」を思い出します。

こんな格調高い条文がある憲法を時代にマッチしていない、押しつけ憲法だ、などと改憲がゆるされますか。

労働組合では、体制派、反体制派などと言われるが、命をかけて戦争する派と命をかけて戦争に反対する派が世の中にはある。

自分の命は一度しかない。自分のため、子孫のため、戦争をしない国づくりに一人でも多く誘わなければと、ウナギを釣りながら、川エビをすくいながら、炭焼きをしながら暇にまかせて考えている今日この頃です。

30日は西村屋敷で、植物講習会になりました。西さんは牧野宮太郎博士を相当に勉強されており、自分の屋敷以外の土地に桜や榎の木を植えたり苗を育てています。車で15分の所に10坪前後の野菜も作って、そら豆もご馳走になりました。でも、家が建つので(高速建設の残土が使われているらしい)使えなくなり、嵐山の方で借りるよう言っていました、猿がでるそうです。

日本国憲法は世界の宝

栃木県那須塩原市 印南敏夫

2010年3月1日発行のハイウェイ九条を考える会会報に掲載された「一読者」氏の「悪夢—敗戦時の記憶」を読ませていただいて、私なりの率直な感想を投稿させていただきました。私は、1952生まれですので、「一読者」氏が死の恐怖に直面なさったような戦時体験はありませんが、ささやかな見聞をもとに書きました。

5ページに続く

栃木県那須町には満州開拓からの引揚者で作る開拓地の一つ「千振開拓」があります。私は、2006年に那須野が原・九条の会が開催した「満州開拓・引揚者の証言」で、この地区に住む中島清一氏(96歳)の話聞く機会を得ました。同町在住の「銃を持たされた農民たち 千振開拓団、満州そして那須の62年」(1995年発行写真集)の著者の大洞東平氏が聞き手でした。中島氏の証言と大洞氏の解説を要約すると、1933年に武装移民団「千振屯墾団」として入植したこと、1934年には土地を奪われた現地人から襲われるようになったこと、1944年には「満人」の一年分の食糧を強制供出させたこと、ソ連が攻め入ってきたときには満州全体で150万人いた日本人のうち10数万人が死んだこと、内、農業関係者27万人のうち8万人以上が犠牲になったこと、日本人の17歳以上45歳以下の男性は「根こそぎ動員」として軍に現地徴兵され、関東軍も撤退していて老人婦女子だけの逃避行は悲惨な状況であったことなどが話されました。

私はこの話をきっかけに2007年、中国東北部(瀋陽～撫順～ハルビン)を旅し、戦争加害の実態のほんの一部を見聞してきました。撫順炭鉱の日本守備隊へ襲撃をしかけた抗日ゲリラを掃討するとして、約3千人の村人を皆殺しにした「平頂山事件」の祈念館で、幅5m、長さ80mはあろうかという「骨池」に人骨の層を見たとき、また、ハルビンで日本軍による生物兵器研究・開発の過程で、中国人や朝鮮人などを生きたまま解剖するなどの生体実験や日本軍は投降直前、証拠隠滅のため実験用囚人を全員殺害し、施設を破壊したとの実態に触れたとき、戦争のあまりのむごさに立ちすくむ思いでした。訪れた私たちに説明した「中国侵略日本軍第七三部隊罪証陳列館」関係者は最後に、「日本政府がこのことを未だに認めないのは残念だ」との静かな言葉が印象的でした。

この戦争では、日本が中国全土から東南アジアへと戦火を拡大させ、日米開戦、アメリカによる東京大空襲、沖縄地上戦、原爆投下と筆舌に尽くせない惨状を残しました。

昨年、NHKが放映した「海軍反省会」(三回シリーズ)では、海軍の頭脳といわれた海軍軍令部に所属した大將から中將など約40人の証言——カセットテープ225巻・400時間をもとに、この戦争に突き進む過程や、特攻作戦立案、海軍の戦争責任逃れのための戦犯裁判対策などが軍令部によって進められたことを当事者証言をもとに明らかにしています。第一回目の「海軍あって国家なし」は次のようなものでした。すべての戦争作戦を立てる海軍軍令部の総長に皇族を立て、天皇の統帥権を盾に、海軍省や連合艦隊に対して絶大な優越権を有し、更には法令等を次々と改めて政治介入をも可能にし、軍令部として兼ねてから画策していた米英との軍縮体制からの脱退を果たし、戦艦「大和」の建造等軍備拡張を益々強め、太平洋戦争へと突き進んだ実態が当事者の肉声で語られています。その中に次のような言い合いがありました。▽陸軍や右翼から海軍を守るためには開戦しかな



かった。△まともな計画も勝算もなく、その上名義もない、強盗略奪の戦争だったというのか、独立のため、自存自衛のためのやむにやまざる戦争ではなかったのか。▽それなら良いのだから、そうじゃないから問題になっている、等々。

戦前の「教育勅語」は、「一旦緩急あれば、義勇公に奉じ、・・・」と天皇のために命をささげることが徹底的に教育し、国民を侵略戦争に駆り立てました。そして戦争になると、軍の謀略・暴走、人命無視——。これは今のイラクでも、アフガニスタンでも同じです。

憲法9条は「英霊の涙にかえて授かった宝だ♪♪」(沢田研二作詞・歌「我が窮状」)だと私も思います。

では、この憲法を変えて戦争できる「普通の国」にしようかと企んでいるのはいったい誰で、何の目的なのでしょう。アメリカのアーミテージ前国務副長官の「憲法九条は日米同盟の邪魔物」発言が端的に語っています。アメリカは、北朝鮮や中国などの軍事的脅威や不安定さを強調しながら、日米安保条約をますます深化させるとして、沖縄を中心に日本に基地を押し付け、憲法改変まで押し付けています。残念ながら、日本政府と、圧倒的な現国会議員は「抑止力」論の呪縛から逃れられず、あるいはこれに屈していると言わざるを得ない現状で、このことこそ変えなければならないのではないのでしょうか。

この安保条約により日本はアメリカに基地を提供していますが、この基地からアメリカはベトナムに爆弾とダイオキシン・枯葉剤を浴びせました。イラクにもアフガンにも軍を送り込んでいます。そして、こうしたアメリカの戦争に日本の自衛隊も引き連れていこうというのが、9条改変の狙いなのではないかと私は考えます。

今年5月3日付けの朝日新聞は一面で、「全国世論調査(電話)によると、戦争放棄と戦力不保持を定めた憲法9条を『変えない方が良い』は67%で、『変える方が良い』の24%を大きく上回った。『これからの日本の平和や東アジアの安定』に9条が『役立つ』と考える人は70%にのぼり、そうした評価が9条維持の世論につながっている。」と報じています。

戦争は人間にとって宿命・・・と言ってしまおうと思えば、停止に陥ってしまうような気がします。憲法9条の精神でものごとを解決することは面倒くさいことかも知れませんが、暴力の連鎖よりも確実な解決方向だと思います。

世界が、その国際関係において日本国憲法の平和主義を土台にする日が一刻も早く訪れることを願って、日本国憲法を持つ私たちひとり一人ができることをやり続けたいと考えるものです。

憲法9条の重要性と最近の状況

埼玉県 橋本 弘之

憲法九条が存在するお蔭で、日本は第二次世界大戦後、約 64 年間に亘って戦争から免れることが出来ました。このことは皆様ご存知であり、一言で云えば、これが憲法 9 条が重要であると認識する由縁であります。

日本国憲法は昭和 21 年に公布されました。この憲法の中で、憲法 9 条第一項には「国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は武力の行使は永遠に放棄する」第二項には「前項を達成するため陸海空軍その他の戦力は保持しない、国の交戦権は認めない」と記されています。

憲法九条が、この様な世界でも珍しい内容となったのは、まだ米国とソ連の対立が激しくなかったという世界情勢と日本人が多数の戦死者を出した第二次世界大戦の惨状が生々しかったためではないかと思われま

す。昭和 25 年に朝鮮戦争が始まりましたが、このとき米国は日本に再軍備を要求し、昭和 26 年には一種の軍事同盟である日米安全保障条約が締結されています。以降、今日まで日本に、政府は残念ながら憲法に反すること、即ち自衛隊を増強し(最近では日本の軍事力は世界第 7 位となっている)且米国の要請に応じて自衛隊を海外へ派兵しようとしています。そして、平成 19 年 5 月には憲法改正の手続きを定める国民投票法が参議院本会議で可決成立しました。

しかし、一方、世論は平成 19 年 6 月に 9 人の方たちが九条の会を作ろうとアピールし、翌平成 17 年には 2000 以上の九条の会ができ、以降毎年 2000 ずつ増えてゆき、平成 19 年には 7000 強の九条の会ができました。

そして、国民投票法が成立した同年の参議院選挙では自民・公明両党が大敗し、野党が参議院では多数となりました。また九条の会が増えるにつれて、世論は憲法を変えない方が良く考える人が増え続け、平成 20 年 4 月には読売新聞の調査で憲法改正反対 43.1%と賛成 42.5%と 16 年ぶりに上回りました。また、5 月の朝日新聞の調査では、九条改正反対派 66%、賛成 23%となり、差が拡大しています。

更に九条の会事務局長の小森陽一氏の講演によると国際社会も九条の思想を理解してきており、北朝鮮の核実験に対し、国連憲章第 42 条の適用、つまり兵力の使用を伴わない制裁をすると決めた。それは、アフガン攻撃もイラク攻撃もアメリカの世界最高の軍事力を使って何も解決できなかったからです。今、世界は九条の思想を実現しようとしている訳です。

このように政府の言動は国内世論や国際憲章とは正反対となっています(民主党も野党時代に鳩山氏が憲法改正を唱えたことがあります)政権も民主党に移って今日日が浅く、どのように動くのか定かではありませんが、九条の会で憲法九条の重要性を訴え続けければ明るい未来が見えてくると思います。共に頑張りましょう。



孫たち次世代にも平和な社会を・・・

千葉県 磯部 隆

私は、第二次大戦終戦の年、東京大空襲の 3 日後に兵庫県
の尼崎でうまれました。

今は亡きお袋が、「米軍の戦闘機 B29 が頻りに襲来、焼夷弾爆撃で周りは火の海のなか、防空壕にも入らず産婆さんと二人きりで産んだのよ・・・戦争は、もういや」と、話してくれたことを思い出します。

娘が結婚、孫が誕生する歳になって、この子等が我々世代のように平和な環境のなかで暮らしていけるのかと、日本の将来に不安を感じるようになりました。

恥ずかしながら、これまで改憲論議等に、あまり関心がなく、憲法に関しても不勉強でしたが、本会への参加を機に、憲法論者の分かり易い一冊の本を手にし、その著者等のホームページを開いたりして勉強しはじめたところです。

そこで、「憲法は、国民を縛るものではなく、国家権力を縛り歯止めをかけるもの」で、「国民の義務や責任を規定するのは、憲法ではなく法律の役割」という近代憲法の大原則を知りました。このことは小・中学校でも教えていないようで、私のように憲法が自分たちに、どのように関わっているのかを理解していない人も多いのではないのでしょうか・・・

終戦から 65 年目の夏を向かえます。この大戦後も、朝鮮半島、ベトナム、コソボ、アフガン、イラクと、市民を巻き込む無差別爆撃で、多くの尊い命を犠牲にする戦争の歴史が続いていますが、アメリカの圧倒的な「力」をもって平和的な解決には至っていません。

もはや軍事力では解決できない時代になっているのは明らかでは・・・

日本も日米強調路線で武力行使に加担する以外に道はないのでしょうか・・・

日本国憲法では、単なる戦争放棄だけでなく、紛争の原因をなくすための最大限の努力をしようとする憲法の立場、理念としています。

紛争による飢餓・貧困や人権侵害、格差が激しくなる社会に対して、人の命を奪うことになる貢献ではなく、人の命を救い、経済的自立への支援が、当事国の人々が求める貢献のはずです。この真の国際貢献を国家として積極姿勢を示し実行することで、アジアをはじめ世界各国との協力、信頼関係を深め、非暴力による安全保障体制の確立、次世代の平和と安定に繋げるという憲法の趣旨にも合致する「日本らしい平和主義国家」を目指すべきではと、考えるようになりました。

ハイウェイ九条の会・ホームページ更新中 これまでの会報が見られます

ハイウェイに関わる仲間の交流の場、近況やご意見を気楽にお寄せ下さい。

アドレスは (<http://www3.nns.ne.jp/pri/toshi601/>) 毎号、表紙タイトルの下に掲載しています。

ハイウェイ九条の会

このホームページは、ハイウェイに関わる仲間が作っています。皆様といっしょに平和を考え、憲法九条を守る一助になればと思います。
ついては、当ホームページに対する意見や感想などを、気軽にをお寄せいただければ大変嬉しく思います。(結成 2006年7月8日)

● [全国版九条の会](#) ● [戦争を語り継ごう\(リンク集\)](#) ● [戦後体験記 \(S20~21\)](#) ● [賛同のお願い](#) ● [本会での小森陽一氏の講演記録](#) ● [本会での小森陽一氏の講演録音](#) ● [ハイウェイ九条の会会報\(1~11号までが読めます\)](#) ● [「憲法改正」が消えた施政方針演説](#) ● [建国記念日は憲法とはなじまない](#) ● [日本国憲法条文3.1ピキニデーについて](#)



写真(旧岩崎弥太郎邸(上野))

メール

掲示板

10.7.3
道祖神さんの投稿がありました。

- [マスコミ九条の会](#)
- [音楽・九条の会](#)
- [京女・九条の会](#) ● 沢田研二「わが窮状」が視聴できます。
- [東海放送人九条の会](#)
- [9条科学者の会](#)

007002

参考リンク

● [民主党](#) ● [日本共産党](#) ● [社民党](#) ● **NEW !!** [有料道路研究センター\(織方弘道氏主宰\)](#) ● [テック高速道路の旅\(料金等が検索できます\)](#) ● [都立第五福竜丸展示館](#)

ハイウェイ関係者のホームページ及びブログ

● [ブログ「山梨の日々」](#) ● **NEW !!** [ブログ「新山梨の日々」](#) ● [グラス片手に\(右田研三氏のHP\)](#)

6/30 会報のバックナンバーを、すべて読むことができます。

6/20 有料道路研究センター記事に、高速道路料金に関しての、参院選に臨む各党の見解が紹介されています。これは必見です。

「ハイウェイ九条を考える会」の目的

- 1、世界と日本の平和を守るため、憲法九条を学び、その理解を深めます。-----
- 2、ハイウェイの建設・管理に携わる人たちや、そのOB、及びその人々につながる多くの人たちとともに考えます。-----
- 3、思想・信条が違って再び戦争のない平和な地球を目指す人々と、その運動に連帯します。.....

呼びかけ人(50音順)

磯部 隆、猪原好雄、鶴澤美彦、内山 亥、織方弘道、柏木幸一、金森芳夫、河内稔典、佐藤正彦、島 博保、清水 昇、白鳥由一、立花正厚、寺田英彦、中島道生、西岡幸雄、根本 守、野中英智(故人)、橋本弘之、洞田啓介、益岡 寛(故人)、馬渡 學、持永龍一郎、森 克彦、山梨文男、山本佳顕、吉田 稔、大角守男(新)、宮内紀也(新)、向井翌(新)、山本武夫(新)、井上洋司(新)青木博(新)、松下幸正(故人)、丸山弘昭(故人).....

2009年6月1日現在 35名

問題を抱えたまま

国民投票法、5月18日に 「施行期日」を迎える

改憲のための国民投票の手続きを定める国民投票法が、今年5月18日施行期日を迎えました。

同法は、2007年に安倍自公政権が強行した改憲手続き法にもとづくもので、最低投票率を設けないなど改憲のためのハードルを低く設定。また、公務員・教育者の国民投票運動について「地位利用」を口実に制限するなど、主権者である国民の自由な運動を押さえ込もうとする重大な内容が含まれています。

同法は、成立に至る過程で自民・公明両党と当時野党だった民主党は、施行までの3年間に関連法の措置を講じるとした付則や18項目にも及ぶ付帯決議をつけました。付則は改憲手続法で「満18歳以上」とされた投票

年齢をめぐり民法や公職選挙法などの整備や、公務員法上の政治活動規制の国民投票運動への適用をめぐり整備などを行うとしていました。

しかし、国の義務として規定したこれらの法整備はまったく進んでいません。

日本弁護士連合会の宇都宮健児会長は同法の施行期日が目前に迫った5月14日、「施行延期」を求める声明を発表しました。

声明では、同法が付則で義務付けた法整備が進んでいないことを指摘したうえで、「国民主権の原理から憲法改正に国民の意思が反映されるよう、きわめて慎重な配慮が要請される」とし、「必要な法律上の措置が講じられていない現状では、同法の施行は延期されるべきである」と述べています。

一方、枝野行政刷新担当相は、5月15日の会見で、「法律として形式的に整って、公布をされている法律であり、行政府の一員としては法律に基づいた義務を果たしていくことが求められている」、「純粹法理論のうえで施行できるかどうかという議論にあまり意味はない」などと述べ、事実上なし崩し施行を容認しています。

主な出来事

- ◎ 2月13日、アフガニスタン駐留米軍とNATO軍は未明から、タリバン拠点とされる南部ヘルマンド州で、アフガン軍と合同で2001年の侵攻開始以来で**最大規模の作戦を開始**した。
- ◎ 4月5日付(赤旗)、総務省は**改憲手続法が5月18日から施行される**ことを前提に、投票手続きや投票用紙の形式など実施の細部を定めた①施行令案②施行規則案③施行に伴う関係政令の整備に関する政令案について、今月25日まで国民の意見を募集している。意見を踏まえ、政府として決定する方向。
- ◎ 4月18日、米軍普天間基地の「移転」有力候補地とされる鹿児島県徳之島で、島内人口(約2万6千人)の**6割にあたる1万5千人の人々が総決起**し、米軍基地移転反対を鳩山政権に突きつけた。
- ◎ 4月25日、米海兵隊普天間基地の早期閉鎖・返還を求め、県内「移設」反対の県民大会が読谷村運動広場で開かれ、**9万人余りが集まった**。米軍基地の県内「たらい回し」反対で超党派で開かれるのは初めで、歴史的な集会となった。
- ◎ 5月20日、**韓国の哨戒艦「天安」の沈没原因**を調査してきた韓国の軍民合同調査団は20日、「北朝鮮製の魚雷による水中爆破で沈没した」とする調査結果を発表した。
- ◎ 5月28日、日米政府は米海兵隊普天間基地(沖縄県宜野湾市)の「移設」先として、キャンプ・シュワブ(同県名護市)の「辺野古崎地区およびこれに隣接する水域」とする共同発表をした。鳩山民主党政権も同日夜、「**辺野古**」を明記した**対処方針を決定**した。
- ◎ 5月30日、米海兵隊普天間基地問題をめぐって福島党首が閣僚を罷免されたことを受けて常任幹事会が対応を協議し、**連立政権離脱**を決定した。
- ◎ 6月2日、**鳩山首相は緊急に開かれた両院議員総会で退陣**する意向を表明。8ヶ月の短命政権だった。
- ◎ 6月6日、菅新首相は6日未明、首相官邸でオバマ大統領と電話で会談し、普天間米軍基地の「移転」先を名護市辺野古周辺とした日米共同発表について、「**合意を踏まえ、しっかりと取り組んでいきたい**」と約束した。
- ◎ 6月8日、**菅内閣発足**。

会の活動費の大部分は、「会報」の発行・送料に使われています。協賛金にご協力をお願いします。

協賛金振込口座 ちば興業銀行 佐原(さわら)支店・(店番号820)

口座名義 西岡幸雄(ニシオカユキオ) 口座番号 普通預金 1016510